



3月になりました。いよいよ令和6年度末を迎えます。

中学生は、今年度の定期テストが全て終わりましたね。普段の授業で、家庭学習で、自分の力を高めていきましたね。よくがんばりました。一年間のふり返りを通して、まだ高められそうな力を確かめてみましょう。自分が知らないすごい自分が見つかることでしょう。

中学校3年生は、自分の進路と向き合っています。私は、数名の生徒と面接練習をさせてもらいました。「希望する高校に入学したいと考えた理由を教えてください。」「中学校生活で一番心に残っていることを教えてください。」「希望する高校に入学した後、どんなことをしてみたいと考えていますか。」等の質問をしました。

あらかじめ予想していた質問にはある程度答えられるのですが、予想していなかった質問のときはちょっと困りますね。でも、私が面接練習した生徒は全員、その場でしっかり考えて質問に対してふさわしい受け答えができていました。すばらしかったです。

私は、いざというときに普段の姿が出ると考えています。普段からしっかり考える習慣、一生懸命取り組む習慣、相手を思いやる習慣等をきたえていれば、いざというときに自分が思い描いていることに近い対応ができるのではないのだろうかと考えています。自分をきたえる習慣、自分をみがく習慣を私も心がけたいものです。

今、がんばっているなかまがいます。あなたにしかできない、なかまのためにできることがあります。なかまを支えてあげてほしいと思います。

小学生はもう少しテストが残っていることと思います。今年度学んだことをふり返って、来年度、一つ進級した学年でもしっかりと学びをすすめられるように準備しておきましょう。寒いなか、長縄跳びに一生懸命取り組んでいますね。くつ箱の所にある「学年チームごとにとべた回数一覧表」にその日に跳んだ回数が記されます。記されるごとにみんなのがんばりが感じられてうれしくなります。

吉野山桜植樹（2月17日）

吉野山は桜の名所として世界に知られています。春の桜の季節には、国内外からたくさんの方が吉野山のふもとから山頂近くまで、順に美しく染まっていく壮大な景色を愛でに来られます。

吉野山の桜は、主に「シロヤマザクラ」という品種の桜です。この桜は、白い花と赤みを帯びた若葉が同時に開くことが特徴の一つです。世界遺産になっている吉野山の蔵王堂のご本尊である「蔵王大権現」を感得された役行者が、その姿をヤマザクラの木に刻まれたことから、吉野山ではヤマザクラがご神木とされるようになりました。その後、願いが込められたヤマザクラの苗木を吉野山にお供えするという意味を込めて、たくさんの方々から吉野山へ植樹が行われるようになりました。そして、現在のように吉野山にヤマザクラがたくさん植わっているようになったのです。

約80年前の戦争のとき、吉野山の桜の木がたくさん切り倒され、吉野山から桜の木がほとんどなくなってしまったそうです。戦後、吉野山をもとのように桜がたくさん植わっている山にしようという取組が始まりました。当時の吉野山小学校の児童や先生方もこの取組に参加しました。その意思を受け継ぎ、今年も吉野山へ吉野小学校6年生が桜の植樹をしました。

今回植樹した桜の苗木。もとをたどれば、吉野山に植わっているシロヤマザクラのさくらんぼです。これらを小学校児童が吉野山へ取りに行き、小学校へ持ち帰ったさくらんぼのなかにある種子を発芽させ、小学校内のさくら畑で数年間育苗したものです。

桜の苗木とともに成長してきた吉野の子どもたち。ふるさとの自慢できる景観を支える担い手としての意識を高めるとともに、これから、吉野山で美しく咲き誇ることになるシロヤマザクラとともに、自分の成長を重ね合わせて未来へのあこがれを想ったことでしょう。大きく成長した自分が、今回植樹したシロヤマザクラと会いに行く日が、今から楽しみです。

◎小学校6年生を送る会（3月4日）

◎中学校3年生を送る会（3月12日）

思い出づくりも大切にしましょう